

# 区民のいのちとくらしを守れ!

## 第6波オミクロン株感染急拡大のもと、区長へ申し入れ

1月19日、日本共産党世田谷区議団は、第6波のオミクロン株による感染急拡大の中、「新型コロナ感染症対策に関する緊急申し入れ」を保坂世田谷区長に申し入れました。(全文裏面)

### 大規模検査で無症状者を早期に把握



第6波のオミクロン株による感染急拡大は、驚くべきスピードで進んでおり、区内陽性者も第5波を大きく超えて、感染状況は悪化の一途です。

世田谷区は、①無料PCR検査場 ②駅頭や薬局での抗原定性検査簡易キットの配布 ③社会的検査の対象を利用者にまで拡充、と大規模検査実施に踏み出しました。

区議団は、いつでもだれでも無料で検査が受けられるよう、更なる検査の拡充を求めました。



写真：左から たかじょう区議、坂本地区常任委員、保坂区長、江口区議、川上地区常任委員、中里区議

### ワクチン 医療 自宅療養 保健所体制の緊急強化で感染者を守る

更に感染急拡大に対して、三度在宅死を生まないため、医療機関支援・自宅療養支援・保健所の強化、迅速かつ確実なワクチン接種、また、まん延防止等重点措置によ

り影響を受ける事業者等の支援についても申し入れました。

また、2月に予定されている在日米陸軍軍楽隊による「ホストタウンコンサート」の中止を求めました。

### 無料の抗原定性検査簡易キット配布



保坂区長は、東京都の行う、無料のPCR検査について、当初区内3か所の薬局のみだったところ、代田区民センターでも行えるようになり(今後は宮坂区民センターでも)、取り扱う薬局も増え、世田谷区が提案していた「プール方式」で検査時間を短縮できるようになっている、と述べました。

区の酸素ステーションも稼働するようになり、陰圧のシステムも整えられ、入院だけでなく宿泊希望の方の場合も考えたい、ワクチン接種については区として保育・訪問介護職員の優先枠も考慮したい、とのことでした。

また、世田谷区は独自に二子玉川、烏山、成城駅周辺と薬局で、抗原定性検査簡易キットの配布をすることになりました。PCR検査に比べ感度は低いですが、すぐに結果が出るというメリットがあります。無症状でも、濃厚接触者が職場に出たなど、感染不安の方に無料で配布されます。

引き続き、①迅速・安全なワクチン3回目接種 ②自治体任せではなく国の責任で、いつでも誰でも無料で受けられるPCR検査等大規模検査の実施 ③第6波を受け、逼迫しつつある保健所・開業医・病院への緊急支援を求めています。

日本共産党の見解を紹介します  
世田谷区民新聞社 世田谷区太子堂4-5-2 ☎03-3419-7721

無料

令和4年1月18日版

対象:世田谷区在住・在勤・在学の方

# 抗原定性検査キット

## 区内3か所で<無料>配布します!

配布時間帯:各会場 午前10時から午後4時まで(予定)

### 烏山区民センター前広場

所在地: 世田谷区南烏山6-2-1  
最寄駅: 京王線千歳烏山駅北口徒歩1分  
実施期間: 令和4年1月21日(金)から  
令和4年2月22日(火)

### 成城学園前駅南口広場

所在地: 世田谷区成城2-3-9付近  
最寄駅: 小田急線成城学園前駅南口  
実施期間: 令和4年1月24日(月)から  
令和4年2月22日(火)

### 二子玉川公園 (ビクターセンター横)

所在地: 世田谷区玉川1-16-1  
最寄駅: 東急田園都市線二子玉川駅徒歩9分  
大井町線上野毛駅徒歩8分  
実施期間: 令和4年1月21日(金)から  
令和4年2月22日(火)



※区施設では代田区民センターで、東京都事業である無料のPCR検査(要予約)を実施しています。(1月末まで)[問合せ先]03(4405)4958

### 【実施概要】

- 無料配布の対象となる方  
世田谷区在住、在勤、在学のいずれかに当てはまる方(予約不要)
  - 注意事項  
・ご来場の際にはマスクを着用の上、発熱等の症状がある方のご来場はお控えください。  
・配布を受けるにあたっては申し込み確認事項に同意していただく必要があります。  
・天候や各会場の都合等により配布を中止する場合がございます。
- [問い合わせ先]  
世田谷区抗原検査キット配布コールセンター TEL03(5432)2612  
受付時間: 9:00~17:00(土日祝含む)

世田谷区ホームページより

※2月1日からは、区内薬局(200カ所程度)でも検査キットが配布されます。

日本共産党世田谷区議団  
〒154-0017 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL: 5432-2791~2 FAX: 3412-7480

2022年1月19日

世田谷区長 保坂展人様

## 〈新型コロナ感染症対策に関する緊急申し入れ〉

日本共産党世田谷区議団

日本共産党世田谷地区委員会

新型コロナウイルス感染拡大から区民のいのちと暮らしを守るために、区長はじめ職員の皆さんが日夜奮闘されていることに敬意を表します。

第6波のオミクロン株による感染急拡大は、驚くべきスピードで進んでいます。21日から、1都6県でまん延防止等重点措置が適用予定です。区内感染者数は18日で484人、自宅療養者数は2265人、都の病床使用率は18日時点で23.4%となり、感染状況は悪化の一途です。

ところが国の対応は極めて不十分です。我が党は政府に、①迅速・安全なワクチン3回目接種②自治体任せではなく国の責任で、いつでも誰でも無料で受けられるPCR検査等大規模検査の実施③第6波を受け、逼迫しつつある保健所・開業医・病院への緊急支援を求めています。

この度区が、①無料PCR検査場②駅頭や薬局での簡易キットの配布③社会的検査の対象を利用者にまで拡充、と大規模検査実施に踏み出したことを高く評価します。

更に感染急拡大に対して、三度在宅死を生まないため、医療機関支援・自宅療養支援・保健所の強化、迅速かつ確実なワクチン接種、また、まん延防止等重点措置により影響を受ける事業者等の支援にも急ぎ取り組んで頂きたい。

区はこの間、国のコロナ対策の迷走や国・都の役割分担等、様々な制約があるなかで、区民の命・健康を守るコロナ対策を総合的・先進的に進めてきました。区民はそのことを評価し期待もしており、第6波においても更なる発揮を求め、以下緊急に申し入れます。

### 記

#### 1、大規模検査について

1) 国の責任で、検査キットや検査体制の確保、保健所・確定診断をする医療機関支援また先進的に踏み出している自治体への財政支援等、PCR検査等の大規模検査を実施出来るよう、区として求めること。

#### 2) 無料PCR検査場について

・無料PCR検査場を当面5支所、今後28のまちづくりセンターごとに拡充していくこと。時間延長と1日に出来る検査数を増やすこと。

・都のPCR等検査の無料化について、1月31日の期間延長を強く求めること。仮に都が事業延長しない場合、区独自対応を検討すること。

・周知・広報を強化すること。予約無しでも受けられるようにすること。

#### 3) 簡易検査キット配布について

・実施期間を延長すること。

・周知・広報を強化すること。

・検査キットの不足が無いよう、確保に努力すること。

#### 4) 社会的検査について

・社会的検査の対象である介護事業所等から、簡易検査キットの更なるストック、配布の要望が聞

かれており、区として対応すること。また、現場からは区の説明資料の判読が難しく、ページ数も多く、そのため今般の検査キット配布の周知が行き届いていない。区からの情報提供文書は、分かりやすく短い内容で改善すること。

#### 5) その他

・大規模なPCR検査により感染動向等つかみ、今後の感染対策につなげることが必要だ。しかし、都の「PCR検査無料事業」では、検査数や陽性者数を公表しておらず、公表を都へ求めること。

・検査キット活用で陽性と判明したとき、確定診断を受けることで、更なる開業医や検査機関の負担が生じる。開業医等医療機関への財政支援・診療報酬引き上げについて、国や都へ対応を求めるとともに、区としての対応を検討すること。また、区独自での検査機関・体制を確保すること。

#### 2、ワクチン接種について

・国は7ヶ月接種としているが、更なる接種の前倒しが出来るよう、国に働きかけること。

・既に区としても国に働きかけているが、訪問介護職員の3回目接種について、優先接種とすることを強く求めて頂きたい。

・第5波で感染拡大した保育園・幼稚園職員についても、優先接種とすることを国に働きかけること。

#### 3、医療・宿泊療養・自宅療養支援等について

・国へ、新型コロナウイルスの感染者は入院か宿泊療養を原則とするよう求めること。また、国や都へ、宿泊療養施設の大幅な確保を求めること。

・医療崩壊を防ぐためには、早期治療が必要だ。区の酸素療養ステーションで、カクテル療法や点滴等積極的治療を行うこと。

・要介護者の家族が陽性となった時、自宅介護が受けられなくなった要介護者を、区内ショートステイを活用して受け入れる事業が、今月末で終了予定となっている。様々な方策で2月以降の継続を行うこと。

・都立病院、公社病院の地方独立行政法人化中止を、都へ働きかけること。

・オミクロン株は、これまでの変異株とは違う特性があり、未知の部分が大きく、科学的知見を得ながら、現場の声を良くつかみ、積極的かつ迅速な対応が必要だ。しばらく開催されていない、区の対策本部の「有識者との意見交換会」を開く等して、対策を進めること。

#### 4、保健所について

・職員体制の更なる強化が必要だ。自宅療養者への連絡、健康観察が滞らないためにも、確実に架電・受電等出来る体制について、感染状況に応じ強化を行っていくこと。

・業務拡大とともに、執務スペースが手狭になっており、コロナ感染拡大に見合った保健所の執務スペースを確保すること。

・再来年度以降の保健師増員を行うこと。

5、国や都へ、今回のまん延防止等重点措置により、減収が見込まれる飲食店や事業者への補償の充実を求めること。区独自にも実態を把握し、独自対応を行うこと。

6、第6波の感染急拡大の大きな背景に、在日米軍由来がある。2月に、区民300名を集めての、在日米陸軍軍楽隊による「ホストタウンコンサート2022」は、感染防止の観点及び区民理解も得られないことから、中止とすること。以上

※ホストタウンコンサートは新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置の発出に伴い、1/21中止が決定しました。